

平成29年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

東北ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 熟達した作業能力と豊富な知識を持つ者
2. 現場をまとめ、効率的に作業を進める者
3. 厚生労働大臣が登録した機関の資格認定を受けた者
4. マネジメント能力に優れた技能者

問題 2 左官の登録基幹技能者制度の受講資格要件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 10年以上の左官の実務経験
2. 職長経験年数8年以上
3. 1級技能士
4. 2級建築施工管理技士（仕上げ）

問題 3 登録基幹技能者に期待されている仕事の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等
2. 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な作業手順の決定
3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導
4. 前工程・後工程に配慮した現場監督との連絡・調整

問題 4 登録基幹技能者に期待されている仕事の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建築施工管理技術者に対して施工方法等の提案・調整をすること
2. 中堅技能者として元請の計画・管理業務に参画し、補佐をすること
3. 技能者の適切な配置、作業方法、手順等の構成をすること
4. 施工に係る指示・指導をすること

問題5 登録左官基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 約束を守る
2. 理屈を言う前に実行する
3. 決断力を持って行動する
4. たえず地元の活動に参加する

問題6 品確法の改正で目的及び基本理念に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現在及び将来の公共工事の品質確保
2. 施工技術の維持向上
3. 公共工事の品質確保の担い手の早急な確保・育成
4. 災害対策を含む地域維持の担い手確保への配慮

問題7 左官技能者のレベルに関して、最も不適当なものはどれか。

1. レベル1は、経験年数が0～3年の見習い工の左官技能者
2. レベル2は、経験年数が3～7年の中堅技能者
3. レベル3は、経験年数が5～15年以上の職長・熟練技能者
4. レベル4は、経験年数が10～15年以上の登録基幹技能者

問題8 OJT および Off-JT に関して最も不適当なものはどれか。

1. OJT とは、「現場内教育」のことであり、現場において、管理者のもとで行われる教育訓練のことである。
2. Off-JT とは、現場外において、管理者のもとで行われる集合教育のことである。
3. OJT は、上司の仕事そのものである。
4. OJT は、部下よりも指導者のペースに合わせて指導することが重要である。

問題 9 工程表の種類に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 斜線式工程表は、縦軸に工期、横軸に距離を表わし、トンネルや舗装工事のように工事区間が線状に長く一定の方向に進捗し、比較的工種が少ない工事に用いる。
2. グラフ式工程表（S字カーブ）は、工事出来高または施工量の累計を縦軸にとり、工期の時間的経過を横軸にとって、出来高の進捗状況をグラフ化して示すものである。
3. バーチャート工程表は、縦軸に作業、横軸に達成度を示し、横軸の各作業の完了点を100%として、その達成度を表示したものである。
4. ネットワーク式工程表は、横軸に日数を、縦軸には施工箇所等を示し、作業手順、作業の相互関係がわかるものである。

問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 5~7人程度の人数で行うと、適切な情報をうまくまとめることができる。
2. 競争心により自由で活発な意見を得ることができる。
3. ゲーム感覚で誰もが楽しく話し合いをすることができる。
4. 化学反応により豊富で多彩な左官材料をつくることができる。

問題 11 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上面が平坦であること。
2. 仕上面の状態が全壁面に関して一様であること。
3. 必要な強度があり、表面硬度が高いこと。
4. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。

問題 12 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

1. 富調合による上塗りは、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りでは貧調合にする。
2. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくするので、取り替える処理が必要である。
3. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、セメントモルタルを十分に乾燥させてから塗り付ける。

問題 1 3 ALC パネルに関して、最も不適当なものはどれか。

1. ALC パネルの接合部のそり、目違いならびに充填用セメントモルタルのはみ出しなどは、ALC パネルを損傷しないように適切な方法で取り除き、左官塗りに支障のないようにしておく。
2. ALC パネル相互の接合部には、パネル取付け構法に応じた所定の位置に伸縮目地を設ける。また、出入隅部、他部材との取合い部にも伸縮目地を設ける。
3. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ（高温・高圧養生）した超軽量コンクリートパネルである。
4. コンクリートに比べ吸水性が小さく、強度・剛性とも小さく、一般に厚手の左官塗りを行ってはならない。

問題 1 4 単層下地通気構法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水紙は通気層より躯体側の防水紙は、透湿防水シートとする。
2. 質量 800g/m²以上のリブラス、リブ系ラス、防水紙付きリブ系ラス、または同等以上の性能を有するものとする。
3. ステープルは、T 線以上の線径で、脚長を 19mm 以上のものとする。
4. 防水紙は鎧張りで、継ぎ目部は幅 90mm 以上重ねる。

問題 1 5 セルフレベリング材に関して、最も不適当なものはどれか。

1. せっこう系セルフレベリング材は強度の弱い α 型せっこうを用い、これに凝結調整材、高流動化剤及び骨材を混合したものである。
2. せっこう系セルフレベリング材は、鉄部を発錆させる。
3. せっこう系セルフレベリング材は施工性がよく比較的短期に次工程の仕上げに入れる。
4. セメント系セルフレベリング材は鉄部の防錆効果を有する。

問題 1 6 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装せっこう系厚塗り仕上塗材	内装厚塗材C
2.	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材L
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材W

問題 17 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. グラウトとは、ひび割れ部にセメントペースト等の結合材を注入すること。
2. スラリーとは、液体中に細かい固体粒子が濃厚に混合され、かつ安定の状態にあるもの。
3. コールドジョイントとは、型枠解体後、硬化したコンクリートの表面に見られ、コンクリート打設中の突き固めが不十分で、セメントペーストの回りが悪いと発生する。
4. レイタンスとは、コンクリート打設の際、浮き水と一緒に浮上したセメント中または骨材中の微粒子からなる薄い泥状物の層をいう。 -

問題 18 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 表面気泡とは、型枠の目違いや打ち込み不良により段差がおき、仕上げ層に応力集中、モルタルの塗り厚が多すぎることで応力が発生するものである。
2. 硬化不良とは、コンクリートが予定の日数を経ても、全く硬化せず、壁や床の躯体としての性能の硬さに至らないこと。
3. 剥離とは、セメントモルタル層と躯体コンクリートとの界面における相互の接着が不良となり、隙間が生じ部分的に分離する状態のことである。
4. 白華とは「ブリージング」ともいい、レンガ目地、コンクリート等の表面に流れ出した結晶化した白色の物質。施工当初の練り水が乾く時に発生するものを一次白華と言い、硬化乾燥後に降雨などで溶透した水によって発生するものを二次白華と言う。

問題 19 施工計画の流れに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画立案にあたり、まず発注者との契約条件、設計図書などを十分に理解するとともに、現場条件等について調査を行う。
2. 施工法や施工手順について品質、工程、安全をそれぞれで比較検討し、基本計画を作成する。
3. 基本計画に従って各工程の施工方法及び施工順序の検討、施工機械の選定、人員配置、作業期間等の決定を行い、施工計画及び詳細工程を作成する。
4. 施工計画及び詳細工程に基づき、労務・機械・資材の調達計画を立案し、工事費の予算組みを行う。

問題 2 0 資材搬入時の検収に関して、最も不適当なものはどれか。

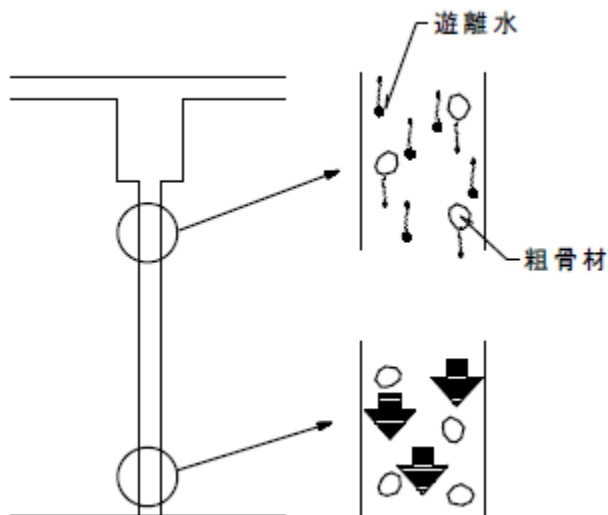
1. 購入依頼した内容と納品書等の内容が一致しているかを確認する。
2. 納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないかを確認する。
3. 搬入された資材の材質や特色を確認する。
4. 付属品や予備品が揃っているかどうかを確認する。

問題 2 1 見積原価の管理に関して、最も不適当なものはどれか。

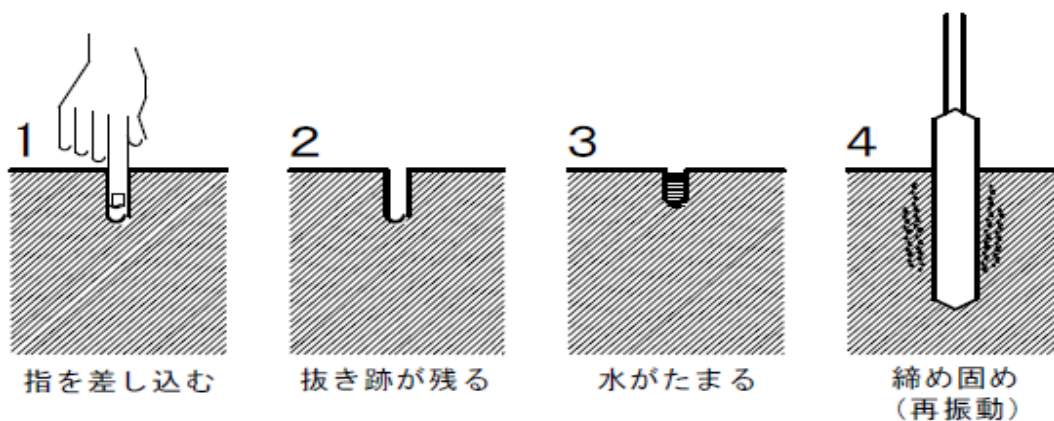
1. 土質、周囲の環境、近隣協定、駐車場の有無等、自社の施工に影響する現場条件を確認する。
2. 設計図書での不明確な点や、図面間の相違点などを確認しておく。
3. 材料の支給や取り合い部分の施工など、施工範囲を明確化する。
4. 工事着手の時期や施工期間など、工程を確認する。

問題 2 2 下図のようなコンクリートの特徴に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 図一1の上部のようにコンクリート打設直後から遊離水とよばれる硬化に不要な水がコンクリート中を上昇することをブリージング現象と言う。
2. 図一2のように、まだ固まらないコンクリートに指を差し込むと遊離水がたまる。
3. 図一2のように、硬化後（打設後15～30分後）再振動をかけると不要な水や空気を強制的に追い出すことができ、効率の良い締固めができる。
4. 遊離水はコンクリートが硬化する前に全て上昇し、コンクリート中には残らない。



図一1



図一2

問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 労働者が通勤途上などで負傷、障害、死亡する災害は、労働災害ではない。
2. 労働災害減少の主要因の一つとして、労働安全衛生法等の安全関係法規の整備が挙げられる。
3. 死亡災害を事故の型別で見ると、建築工事では墜落事故が約 59%と最も多い。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つは、雇用期間が短いため、継続的な教育・訓練が実施しにくいことが挙げられる。

問題 2 4 各種労働災害防止について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 2m 以上の所での作業を行う場合、基本的には作業床を設置する。
2. 居ながらリフォーム工事では、電気やガスが使えるので新築工事より安全である。
3. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
4. 熱中症予防対策として、WBGT（暑さ指数）を測定することは有効である。

問題 2 5 法で定められた建設現場における安全管理について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

1. 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努めなければならない。
2. 複数業者が混在する 70 人の建設現場では、安全管理のために元請業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
3. 作業主任者を選任しなければならない作業の中に、型枠支保工の解体は含まれない。
4. 元請業者は、現場で新たに就労する作業員に対し新規入場者教育を行う必要がある。